

公益社団法人徳島県看護協会

TOKUSHIMA
NURSING
ASSOCIATION

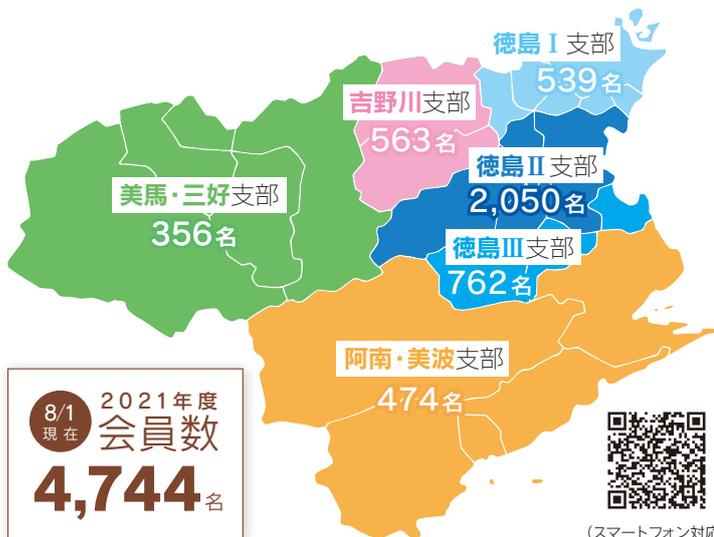
2021.8.31

協会ニュース

No.
100



表紙 写真提供 森山節子様



(スマートフォン対応)

CONTENTS

会長挨拶	2
春の叙勲および表彰	2
令和3年度 徳島県看護協会通常総会	3
2021(令和3)年度 役員・委員名簿	3
令和3年度 日本看護協会通常総会	5
輝く戦士!! ナースマン	6
新型コロナウイルス感染症患者を受け入れて	8
徳島保健所における新型コロナウイルス感染症対応	8
AWAナースサポートセンターだより	9
第7回 訪問看護普及フォーラムのお知らせ	9
新型コロナウイルス感染症に関する事業について	10
私の趣味	11
研修受講時の駐車場について	11
図書室からのお知らせ	11
ナースセンターだより	12
ワンポイントアドバイスNo.43	12
教育研修担当者よりお知らせ	12
編集後記	12

会長挨拶



会長 稲井 芳枝

会員の皆様、日頃は公益社団法人徳島県看護協会の運営につきまして、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

去る6月5日に新型コロナウイルス感染拡大防止のため大幅縮小の中、令和3年度通常総会が無事に終えることができました。深く感謝申し上げます。

まずは、新型コロナウイルス感染拡大が今なお収束が見通せない中、長期間に渡り、あらゆる保健、医療、福祉の現場で最善を尽くして、日夜業務に従事し、地域医療を支えている看護職をはじめ、医療関係者の皆様に敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

徳島県看護協会は、県民の健康と看護職の皆様の健康を守るため、日本看護協会をはじめ行政及び関係機関と連携を図りながら、皆様の活動をできる限り支えて参ります。

令和2年度は、感染拡大防止の観点から、本協会設立40周年行事や長期間の養成研修、県外講師による研修が中止となり、多くの事業が縮小やリモート等による変更を余儀なくされました。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

そのような中で、AWAナースや潜在看護職の方々が、宿泊療養支援、PCR検査、受診・相談センターでの相談業務やワクチン接種の協力等多くの業務にご協力いただき、全ての看護職が一丸となって、新型コロナウイルス感染症に対峙できたと思います。

令和3年度は、次の5つの重点事業、①地域包括ケアにおける看護機能の強化②専門性を高める生涯教育の推進③健康で働き続けられる職場環境づくり④社会の期待に応える地域活動⑤本会の目的を達成するための基盤整備に取り組んで参ります。

そして、「WITHコロナ」の新しい生活様式の中で、感染対策を取り入れた研修、会議等を開催し、皆様のニーズに沿った事業を展開して参ります。

現在、ワクチン接種や検査・医療体制の整備など新型コロナウイルス感染症対策が講じられていますが、まだまだ早期の収束が見通せない状況で負担は如何ばかりかと推測されます。

本協会としましては、看護の課題を要望・提言として、引き続き県等に働きかけ、看護職の現状を広く伝えていきます。

さて、昭和55年から発行している「和」も今回で第100号となりました。会員の皆様のご支援に感謝いたします。これからも、「つなぐ」をキーワードに、看護の心は一つ、今こそ看護の力で健康な社会を!力を合わせて乗り越えていきましょう。

今後も会員の皆様の更なるご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

おめでとうございます 春の叙勲 および 表彰



瑞宝単光章
森 恭子 様



徳島県表彰
原 良江 様



日本看護協会会長表彰
松崎 和代 様

令和3年度 公益社団法人 徳島県看護協会 通常総会開催 令和3年 6月5日(土) 10:00~12:00

令和3年度

〈重点目標〉

- 1 地域包括ケアにおける看護機能の強化
- 2 専門性を高める生涯教育の推進
- 3 健康で安全に働き続けられる職場環境づくり
- 4 社会の期待に応える地域活動
- 5 本会の目的を達成するための基盤整備

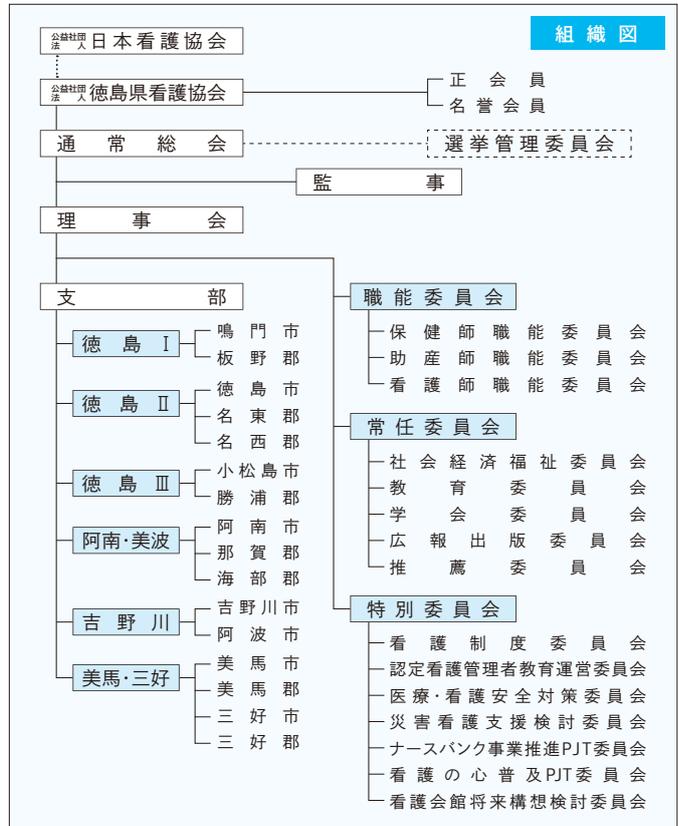
〈議案〉

- 第一号議案 令和2年度決算報告(案)及び監査報告
 第二号議案 令和3年度役員及び推薦委員の改選並びに令和4年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について

令和4年度

日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補

職 種	代議員	予備代議員1	予備代議員2
保健師	松村美智子	今川 玲代	横山 敦子
助産師	森内 洋美	境 貴世	知野 広美
看護師Ⅰ	宮本 美恵	折村 秀美	小林 結花
看護師Ⅱ	梅津 友紀	岩本 優子	森 恭子
准看護師	高城 晴美	高松美由貴	



2021 (令和3) 年度

役員

役職・職能	氏 名	担当委員会名	勤務先
会 長	保・稲井 芳枝		公益社団法人徳島県看護協会
第一副会長	看・木田 菊恵	支部活動総括・学会担当・看護会館将来構想検討委員会	四国大学看護学部
第二副会長	看・森 恭子	職能活動総括・看護制度委員会	徳島文理大学保健福祉学部
専務理事	保・今川 玲代	災害看護支援検討委員会・ナースバンク事業推進プロジェクトチーム委員会・看護の心普及プロジェクトチーム委員会	公益社団法人徳島県看護協会
常任理事	看・石山由紀子	認定看護管理者教育運営委員会・医療・看護安全対策委員会	公益社団法人徳島県看護協会
理 事	保・松村美智子	保健師職能委員長	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
	助・森内洋美	助産師職能委員長	徳島大学病院
	看・宮本美恵	看護師職能委員長	徳島県立中央病院
	看・喜来浩美	徳島Ⅰ支部長	徳島県鳴門病院
	看・橋本幸子	徳島Ⅱ支部長	徳島市民病院
	看・久米宏実	徳島Ⅲ支部長	徳島赤十字病院
	看・千田幸代	阿南・美波支部長	JA徳島厚生連阿南医療センター
	看・三木真澄	吉野川支部長	JA徳島厚生連吉野川医療センター
	看・岸本小百合	美馬・三好支部長	徳島県立三好病院
	看・佐藤晴久	広報出版委員会	藍里病院
	看・岩佐幸恵	教育委員会	徳島大学大学院医歯薬学研究所
	看・岩本優子	社会経済福祉委員会	徳島赤十字ひのみ総合療育センター
	看・高城晴美	看護制度委員会	小松島病院
監 事	外・孝志洋平		さくら税理士法人
	看・美馬敦美		徳島県鳴門病院

・印の理事はR3、R4年度任期

職能委員

氏 名	勤務先
保 健 師 職 能 委 員 会	
松村美智子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
・金山三恵子	四国大学看護学部
・木下沙姫	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
・武市有紀子	徳島県東部保健福祉局(吉野川保健所)
・藤本ありさ	徳島県発達障がい者総合支援センターアイリス
・村橋丈彦	鳴門市役所
・森内洋美	徳島大学病院
助 産 師 職 能 委 員 会	
小川喜久実	JA徳島厚生連阿南医療センター
境 貴世	徳島県立中央病院
・知野広美	つるぎ町立半田病院
・富士本里美	JA徳島厚生連吉野川医療センター
・美馬良美	徳島赤十字病院
看 護 師 職 能 委 員 会	
宮本美恵	徳島県立中央病院
・大西由香	藍里病院
・岡香於里	たまき青空病院
折村秀美	TAOKAメディカル・ウェルフェアシステム
・切佐古幸代	徳島県立三好病院
・小林結花	徳島県立中央病院
寺尾聡子(独)	国立病院機構徳島病院
・戸田伴江	徳島市民病院
・廣瀬久美子	手束病院
・渡部光恵	四国大学看護学部

・印の方はR3、R4年度任期

常任委員

職能	氏名	勤務先
社会経済福祉委員会	保・國見華子	徳島県教育委員会 福利厚生課
	保 西谷 範子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部 (美馬保健所)
	助・坂東美穂	つるぎ町立半田病院
	看 岡田美千子	亀井病院
教育委員会	看 廣瀬千江美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看・森本美香	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	保・尾崎清花	徳島県東部保健福祉局 (徳島保健所)
	保・吉岡美紗稀	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部 (阿南保健所)
	助・坂口朋枝	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	助・新居アユ子	四国大学看護学部
	看・岩佐武彦	徳島県立中央病院
	看・黒川布美	独)国立病院機構東徳島医療センター
	看・作田久美	徳島県立総合看護学校
	看 四宮広美	徳島大学病院
	看・間矢三津子	徳島市民病院
	看 西分延代	川島病院
	看 橋本久美子	徳島赤十字病院
	看 堀江江美子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 前川涼子	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	学会委員会	看 南川貴子
看・山岡真由美		徳島県鳴門病院
看 山元明美		T A O K A こころの医療センター
保 横山敦子		徳島県障がい者相談支援センター
助・川下美紀		徳島大学病院
助・山田健代		徳島文理大学保健福祉学部
看 蔭山綾子		J A 徳島厚生連阿南医療センター
看 英美沙		独)国立病院機構東徳島医療センター
看・板東孝枝		徳島大学大学院医歯薬学研究部
看・福田ひろみ		徳島赤十字病院
広報出版委員会	保 湯浅香苗	徳島県警察本部
	保 吉村尚美	四国大学看護学部
	助 國安由美子	徳島県立三好病院
	看 岩崎奈緒	徳島県立中央病院
	看 笹松香奈	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 萩原梨花	独)国立病院機構東徳島医療センター
推薦委員会	看 増田恵里	徳島市民病院
	看・米田泰代	徳島赤十字病院
	保 中川真由美	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部 (美馬保健所)
	保 濱堀由美	徳島県中央こども女性相談センター
	助 辻岡真紀	徳島県立三好病院
	助・橋本綾	徳島大学病院
	看 尾崎貴美子	徳島赤十字病院
	看・柿本朋子	徳島市民病院
	看・豊野弥生	徳島県立中央病院
	看・中野敦子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
看 藤田洋子	徳島県立海部病院	
看 宮崎明美	徳島県鳴門病院	

6支部

支部名	支部長名	勤務先
美馬・三好支部	岸本小百合	徳島県立三好病院
吉野川支部	・三木真澄	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
徳島支部Ⅰ	・喜来浩美	徳島県鳴門病院
徳島支部Ⅱ	・橋本幸子	徳島市民病院
徳島支部Ⅲ	・久米宏実	徳島赤十字病院
阿南・美波支部	千田幸代	J A 徳島厚生連阿南医療センター

・印の方はR3、R4年度任期

特別委員

職能	氏名	勤務先
看護制度委員会	保 徳永あいこ	徳島県保健福祉部 医療政策課
	看 藍原美鈴	徳島県立総合看護学校
	看 阿部純子	きたしま岡病院
	看 英直美	徳島県鳴門病院附属看護専門学校
	看 森数江	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 森恭子	徳島文理大学保健福祉学部
	准 田村浩子	鴨島病院
	看 石川和恵	徳島県立三好病院
	看 岩佐幸恵	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看 庄野まゆみ	徳島赤十字病院
認定看護管理教育運営委員会	看 高開登茂子	徳島大学病院
	看 三木真澄	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 森恭子	徳島文理大学保健福祉学部
	看 石山由紀子	徳島県看護協会
	看 小川薫	徳島県立中央病院
	看 桑村富久枝	徳島赤十字病院
	看 葛籠比佐美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 原田路可	徳島大学病院
	看 真柴敦子	徳島市民病院
	看 向井幸子	徳島県鳴門病院
医療・看護安全対策委員会	看 村上まどか	徳島県立海部病院
	看 石山由紀子	徳島県看護協会
	保 今川玲代	徳島県看護協会
	保 山下留理子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看 大西須真子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 川野真奈美	徳島県保健福祉部 医療政策課
	看 桑村直美	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 斉藤ゆかり	徳島県立総合看護学校
	看 畠中カズ子	つるぎ町立半田病院
	看 藤本華織	徳島赤十字病院
災害看護支援検討委員会	看 山下千花	徳島市民病院
	保 緒方静子	徳島県看護協会
	看 木田菊恵	四国大学看護学部
	看 近藤佐地子	大久保病院
	看 滝下優子	徳島県鳴門病院
	看 中西仁美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 名西明美	徳島県立三好病院
	看 原良江	徳島市民病院
	看 藤原都志子	徳島県看護協会複合型サービス事業所あい
	看 松崎和代	自宅
看護会館将来構想検討委員会	看 森弥生	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	保 徳永あいこ	徳島県保健福祉部 医療政策課
	助 水田克子	徳島県立総合看護学校
	看 石川早由里	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 岡田由美子	そよかぜ病院
	看 笹田真紀	川島病院
	看 高岡正和	小川病院
	看 西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
	保 今川玲代	徳島県看護協会
	看 川野真奈美	徳島県保健福祉部 医療政策課
ナース・事務・ボランティア委員会	看 勝瀬昌代	徳島県立海部病院
	看 黄田千佳	つるぎ町立半田病院
	看 喜来浩美	徳島県鳴門病院
	看 久米宏実	徳島赤十字病院
	看 千田幸代	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 名西明美	徳島県立三好病院
	看 西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
	看 橋本幸子	徳島市民病院
	看 橋本幸子	徳島市民病院
	看 橋本幸子	徳島市民病院



令和3年度 公益社団法人 徳島県看護協会 通常総会開催

新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、医療従事者である会員の3密を防ぐため、規模を縮小し、感染対策を実施した上で開催しました。参加者は、議長、各委員会委員長等報告者など最低限の会員のみとし、それ以外の会員の方には委任状の提出を依頼しました。当日は、66名の参加と3,889名の委任状により3,955名の出席者で開催しました。

議決事項の第一号議案「令和2年度決算報告（案）及び監査報告」第二号議案「令和3年度役員及び推薦委員の改選並びに令和4年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について（案）」と報告事項の令和2年度事業報告、令和3年度重点政策・重点事業並びに事業計画、令和3年度資金収支予算及び収支予算について報告、協議があり、議決事項はすべて承認されました。





令和3年度

日本看護協会

通常総会

令和3年 6月9日(水)

場所 幕張メッセ
(千葉県千葉市)

令和3年度

公益社団法人 日本看護協会代議員

<ul style="list-style-type: none"> 保 松村美智子 助 上田 美香 看 岩本 優子 看 折村 秀美 看 廣瀬久美子 准 高城 晴美 	<p>徳島県西部総合県民局保健環境部(三好保健所)</p> <p>徳島大学病院</p> <p>徳島赤十字ひのみね総合療育センター</p> <p>TAOKAメディカル・ウェルフェアシステム</p> <p>医)手東病院</p> <p>医)小松島病院</p>
--	--

日本看護協会は6月9日、令和3年度通常総会を幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き規模を縮小し、最小限の代議員のみの参加で実施されました。そのため、代議員は、事前に「議決権行使書」を提出し、一般会員は参加を控える事となりました。今年度はライブ配信が実施され、開催後にはアーカイブ配信されました。

750人の代議員の出席と、日本看護協会役員、議長、選挙管理委員など50人が参加されて開催されました。

議決事項2議案と報告事項4事項が協議、報告されました。議決事項第一号議案「名誉会員の推薦（案）」は承認され、15名の方が名誉委員となりました。第二号議案「2021年度改選役員及び推薦委員の選出について」は、推薦委員会候補以外に立候補はなく、候補者全員が承認されました。報告事項では、令和2年度事業報告と決算報告及び監査報告 令和3年度重点政策・重点事業並びに事業計画と資金収支予算及び収支予算が報告され、いずれも承認されました。

重点政策6・重点事業12

1. 看護基礎教育制度改革の推進

1-1 看護師基礎教育の4年制化の推進

- 1-2 准看護師制度の課題解決に向けた取り組み
- 2. 健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築
 - 2-1 人々の健康と療養を支える看護モデルの確立
 - 2-2 訪問看護師倍増策の推進
- 3. 看護職の働き方改革の推進
 - 3-1 看護職の働き方改革の推進
 - 3-2 地域における看護職員確保方策の検討
- 4. 看護職の役割拡大の推進と人材育成
 - 4-1 ナース・プラクティショナー（仮称）制度の構築
 - 4-2 資格認定3制度の養成戦略の検討
 - 4-3 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進
- 5. 看護職の資格活用基盤の強化
 - 5-1 看護職の資格活用基盤の強化
- 6. 地域における健康危機管理体制の強化
 - 6-1 大規模災害発生時の対応体制整備
 - 6-2 新興感染症等のパンデミックへの対応体制の整備

翌日の6月10日には、全国職能交流集会在ライブ配信されながら開催されました。

基調講演では、独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長であり、新型コロナウイルス感染症対策分科会会長 尾身茂氏から、「新型コロナウイルス感染症における日本の医療体制」のテーマで、伝播の特徴、検査体制、今後の課題等のご講演がありました。次に日本看護協会 参与 友納理緒氏から「～感染防止対策の水準とコロナハラスメントについて～」のご講演があり、その後、保健師職能、助産師職能、看護師職能Ⅰ、看護師職能Ⅱそれぞれの方から、「コロナ渦における安全・安心な地域包括ケアシステムの推進」をテーマに報告がありました。



保育士から看護師へ



徳島市民病院
石田 義人

看護学校を卒業し今年で7年。以前は保育士として働いていました。そんな自分が看護師を志したきっかけは、保育士時代に看護学生が保育実習に来たことでした。看護師の卵から聞いた話は私には興味深い話で、自分も新しいことに挑戦してみたいと思い看護師の道を歩もうと決心し、現在に至ります。保育士も看護師もまだまだ女性が多い現場で共通点も多く、大変で眠れない日々もありますが、自分にしかできない看護が提供できるよう日々精進しています。

看護師の道を歩もうと決心し、現在に至ります。保育士も看護師もまだまだ女性が多い現場で共通点も多く、大変で眠れない日々もありますが、自分にしかできない看護が提供できるよう日々精進しています。

看護師さんってすごい



東徳島医療センター
角田 匡弘

看護師になって10年が経過しました。看護師になる前は一般企業で働いていましたが、入院したことがきっかけで看護師を志しました。入院中に看護師さんに勇気づけられ、看護師さんってすごいと感動した場面がたくさんありました。この時、出会った看護師さん

のようになりたいと、病室で締切り間近の看護学校の願書に坊主頭の写真を貼り郵送しました。今は、家族の多大な理解と協力のもと、副看護師長として「一人ひとりの患者さんを大切に」をモットーに頑張っています。

きっかけとこれから



阿南医療センター
白木 伸幸

私が看護師になったきっかけは、唯一合格した大学が看護学部だったという単純なものでした。内気で引っ込み思案な性格であり、看護師に向いているのかと自問自答した時期もありました。看護学部に入學した以上「向いていないなら向いている看護師になれるように努力すれば良い」と前向きに考え、気づけば看護師となり4年目を迎えています。

私の祖母は看護師であり、子供の頃体調を崩す度にやさしく看病してくれた記憶があります。そんな祖母も今では認知症で施設に入所しています。次は祖母に受けた恩を患者様やその家族に返せるよう、優しくしっかりとしたナースマンとして頑張っていきたいです。

空飛ぶおっさんナース



徳島県立中央病院
長村 哲也

看護師として14年目となり、私は今HCUで勤務し、当院のドクターヘリでフライトナースとして活動しています。

私が看護師を志した動機は2つで、1つめはありがちなTVの影響。2つめは小中高と学生時代にお世話になった親友の母が病に伏せられ、何か

助けになりたいと思ったことからでした。今では、ヘリを上空で見かけると「長村が飛んでるっ!」と認知してもらっているようです。今後も医師・コメディカルと連携し、より良い初期診療が提供できるよう精進していきたいと思います。

誰からも頼られる 特定看護師を目指して

徳島大学病院
前田 真

私は人の役に立つ仕事に就きたいと思い、患者にとって「一番身近な存在」である看護師を目指しました。看護師18年目、副看護師長として4年目ですが、現在は、高度な臨床実践能力の習得を希望し、外科系基本領域と腹腔ドレーン

管理関連の看護師特定行為研修の修了を目指しています。臨床推論やフィジカルアセスメントの難しさを痛感し、日々鍛錬しています。研修修了後は、誰からも頼られる看護師になりたいと思っています。

自分で決めた道

徳島赤十字病院
港 泰洋

高校時代の恩師から「年齢や性別に関係なく誰とでも話せ、優しく温厚な性格なので医療職を目指してはどうか」との言葉が看護師を志すきっかけとなりました。その後、様々な本や医療者の話から、看護師は医師の指示の下、自分の

主体性を発揮して患者を支援できることや男性看護師の活躍に魅力を感じ、看護師への道を決意しました。

現在5年目を迎え、ICUでの経験や男性看護師の特性を活かしながら、エキスパートナースを目指して自己研鑽に励んでいます。

先輩である母からの 助言がきっかけで

TAOKAこころの医療センター
南 幸作

元々、教師や公務員を志していましたが、社会人2年目の時に、看護師である母から昔言われた「看護師になってみんぞ？」という言葉思い出しました。人のお世話をし、社会に役立つ仕事に就きたかった僕は看護師を志しました。

精神科スーパー救急病棟は大変多忙ですが、笑顔の絶えない職場で和気あいあいと日々楽しく業務をさせていただいています。看護師は患者様にとって最も身近な存在であり、心のケアにこそ看護の神髄があると思います。患者様の心に寄り添う看護を目指します。

看護師になって ここに残ったこと

藍里病院
村上 王夫

看護師になり20年が経ちました。その中で特にここに残ったことは、藍里病院でストレングスの看護研究をしたことです。10代後半男性、発達障害があり暴力が激しく医療従事者や家族からも対応に困ってました。ストレングス

を用いて関わり、暴力が次第に無くなり退院することができました。退院後も外来受診時は病棟へ顔を出し、笑顔で近況を話してくれたことを覚えています。彼との関わりで成長することができました。大変だったけど楽しかったです。

看護師を志した理由 ~かつて寄りそってくれた 看護師のように~

徳島県立三好病院
吉田 一星

僕が看護師になりたいと思ったのは、高校生時代に怪我で入院したのがきっかけでした。モトクロスというスポーツをしていたので怪我はつきものでしたが、その時は手術して一ヶ月という長期間の入院が必要でし

た。その間、看護師さんに色々支えてもらい、忙しい中でも僕のリハビリペースに合わせて移動を手伝って頂いたことがとてもありがたく印象に残っています。僕も同じように、怪我や病気で苦しんでいる人の助けができる看護師になりたいと思志しました。

未来の



形にできる看護師を 目指して

四国大学看護学部看護学科
赤川 笙

「将来私に何かあったときは助けてな」という日頃の母との何気ない会話

がきっかけで、医療分野に興味をもちました。看護師を目指したのは、患者さんの1番そばで生活そのものを支えることができると思ったからです。これから、看護師として自分自身が沢山のひとと関わり、多くの経験を通して知識を深め、成長していきます。私は、『優しさ』『思いやり』をきちんと形にできる看護師になれるよう頑張ります。

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れて

徳島県立三好病院 感染管理認定看護師 吉川 みどり

当院では2019年に発生した新型コロナウイルス感染症患者を2020年2月より受け入れている。当院は第二種感染症指定医療機関であり、2類感染症を受け入れるための設備は整っている。しかしスタッフの不安は強くどうすれば安心して患者に対応できるかを考えながら、マニュアルの作成、環境整備、説明、周知を行った。

患者の受入れ前から必要物品の管理や職員に个人防护具の着脱訓練を実施し、病棟のゾーニングや物品の配置もスタッフと相談しながら使用しやすい環境整備を行った。患者の入院前支援については、入院が決定した患者に連絡し、入院時に持参してもらう物品や来院方法などを説明した。また到着時の誘導など病棟スタッフと連携して行ってきた。防護具については、在庫数が少ない物品もあり、使用方法の検討や、代用品を考慮することもあり、スタッフに不安を与えてしまうこともあったが、現状を理解し協力してもらい乗り越えることができた。

感染管理認定看護師としての役割は、直接患者に接するスタッフが安心して対応できるよう環境整備を行うことと考え、各部門と相談しながらバックアップを行ってきた。またいつでも相談できるよう頻回に病棟を訪問し、スタッフとコミュニケーションを取るように心掛けた。今後も各部門や病棟スタッフと相談しながら、よりよい看護が提供できるような環境整備に努めたい。



徳島保健所における新型コロナウイルス感染症対応

徳島保健所 感染症・疾病対策担当 課長 浦西 由美

徳島県において、感染力の強い変異株の主流化により、3月下旬から第4波が到来し、若年層や家庭内での感染が拡大、病床の逼迫により、入院待ちを余儀なくされる方もいました。さらに、今後は、デルタ株の流行による感染拡大も懸念されています。

保健所では、医療機関から発生届受理後、感染拡大防止のために積極的疫学調査を開始し、濃厚接触者の特定と健康観察、クラスター早期発見と封じ込め対応を行います。PCR検査調整、感染者搬送、感染症法に基づく公費負担等関係事務、コロナ後遺症の相談等業務は多岐にわたります。

感染拡大防止のために重要な積極的疫学調査では、周囲からの心のない言葉や差別に不安を感じ、真実を語ることを躊躇する方もいらっしゃる中、初めてのお電話で、限られた時間と状況の中で関係を構築することの難しさを痛感しています。電話の向こうでの苦しそうな声を聞いても入院調整がままならなかった4月は、住民の生命に直結する判断も求められ、申し訳ない気持ちと責任の重さで押しつぶされそうになりました。最近では、ワクチン2回接種済みでも感染される方の揺れる気持ちへの寄り添いと丁寧な説明が必要になっています。また、限られた人員での深夜に及ぶ業務、めまぐるしく変わる現場での対応等、職員の心理的な負担も非常に大きく、職員を支える仕組み作りも課題と感じています。

保健所は、看護協会の皆様、多忙な中でも快く対応し連携いただいている医療従事者の皆様に支えられており感謝申し上げます。これからも、感染者やご家族の思い、医療従事者の思いをつなぎ、第5波をともに乗り越えていきたいと思っております。引き続きよろしく申し上げます。



AWAナースサポートセンターだより

「新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設業務」に従事して

AWAナース 中道 恵子

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、徳島県では令和2年8月より入所者の心身の健康状態を管理し、適切な療養支援を行うということで軽症者宿泊療養施設が開設されました。私は、徳島県看護協会AWAナースとして業務に携わることになりました。

開設時は1施設でしたが感染拡大と共に一時は4施設が開設されていることもありました。厚生労働省や徳島県また医師会の判断と指示にて入所期間やPCR検査も日々変わっていきました。

入所者を受け入れる時には、対面で看護師は酸素飽和度の測定と持参薬の確認を行い、事務局が入所の手続等を行いお部屋に案内します。この短い時間で入所者の顔色や状態を確認し、お部屋で落ち着いた頃を見計らい電話やタブレットで情報収集を行いました。入所者は皆、何らかの軽い症状や不安な気持ちのまま入所し、閉鎖された空間で生活に制限を受け、常に心のケアが重要だと痛感しました。長期になると心の不安や不満が蓄積され怒りをあらわにする方もおいでました。入所者の言葉から心の不安の理解に努め看護師としてかける言葉を選び続けたこともありま

した。また、症状の悪化により病院へ搬送することもあり、状態の変化を見逃さず早期に対応することの重要性や、急変時の迅速な対応こそが入所者への安心・安全に繋がっていると感じました。

このような勤務の中で医師、看護師、県職員、外部委託者でチーム一丸となり情報交換を行い連携することでスムーズに業務を遂行することができたことや、スタッフ全員で協力し自分たちが感染を持ち込まないように、そして自己の健康管理を行いながら感染予防対策を徹底できたことはとても良かったと思っています。

今回、この業務に携わることができ専門職業人として多くの事を学ぶことができ、また長い看護師人生での経験を活かすことができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



第7回 訪問看護普及フォーラムのお知らせ



人生のハッピーエンドを迎えるために ～人生会議(ACP)のススメ～

日時 令和3年10月24日(日)
13:30～15:00

会場 ふれあい健康館 1階ホール
徳島市沖浜東2丁目16番地

対象 関心のある地域住民の皆様
医療・看護・介護職・看護学生等
80名(座席指定券あり)

参加費 無料 新型コロナウイルス感染拡大状況により、Zoom開催となる場合があります。

基調講演 13:35～14:20

「人生のハッピーエンドを迎えるために～人生会議(ACP)のススメ～」

講師 木下ファミリークリニック 院長 木下英孝 氏

ディスカッション 14:20～14:55

在宅医の立場から
訪問看護師の立場から
ケアマネジャーの立場から

木下ファミリークリニック 木下英孝 氏
大神子訪問看護ステーション 安部五月 氏
喜久寿会居宅介護支援センター 田村正江 氏

1階ホール前

在宅医療・介護なんでも相談コーナー(13:00～15:00)

主催 公益社団法人徳島県看護協会 訪問看護支援センター

新型コロナウイルス感染症に関する事業について

新型コロナウイルス感染症の感染が続く中で、あらゆる場面で看護職が必要とされています。徳島県や医師会等から委託や協力要請を受けた事業について、潜在看護師、AWAナース、プラチナ保健師等の看護職を確保・調整し、支援を行っています。

1. 受診・相談センター（帰国者・接触者相談センター）業務

保健所において電話相談業務に従事し、感染者が増加した8月には月に600件以上の相談に対応しました。その後、濃厚接触者に関する健康観察の業務も追加となり、クラスター発生時には1日100名以上の方に対応しています。

2. 児童養護施設等感染症対応力底上げ事業

3圏域の12施設を定期的に訪問し、感染予防対策の助言指導や感染対策等衛生管理・指導を実施し、感染対策マニュアルの作成支援を行っています。濃厚接触児童の受入れの際には、健康観察等や感染対策に関する対応や相談を実施しています。

3. 地域外来・検査センター、第3地域外来・検査センター業務

東部と南部のPCR検査の補助を実施しています。

4. 新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養に関する協力

宿泊療養対象者が指定ホテルに入所した際に、健康管理と生活面のサポート、PCR検査補助等の支援を実施しています。

5. ワクチン接種に係る看護師確保等

訪問看護師やAWAナース等のワクチン優先接種に関して、接種のとりまとめと予診票の配布を実施しました。

集団接種に看護師の協力を要望している市町村からの依頼に対応するため、看護職の確保を行い、筋肉注射シミュレーションモデルを使用し、スキルギャップ研修を実施しました。3月から8月中旬までに「ワクチン接種に係るスキルギャップ研修」を263名（市町村保健師含む）の看護職の方が受講し、協力依頼のあった12市町村と県（大規模接種）、大学等で活躍してくださっています。

令和3年度も看護職の皆様のご協力により引き続き事業を継続しております。ワクチンの集団接種に関しては、現在も支援いただける看護職が増え続けております。今後も看護が必要となる所に看護職が寄り添えるよう支援をしていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



私の趣味



富士原 晴巳

「油絵は何度でもやり直しができます」
 油絵を始めたのは20年近く前でした。
 小学校の恩師がカルチャーセンターの
 講師をされており、参加したのがきっかけ
 でした。この言葉は、描いても形になら
 ず悪戦苦闘している私に先生がおっ
 しゃいました。うまく描けなくても、上に
 絵の具を重ねていくことで意図しないよ
 うな色や陰影が出ることがあります。反
 対に構図がしっかりできていなければい
 くら塗っても絵にならないことも。何と
 なく人生に似ているなと思い、今も
 楽しんでます。

この絵は、初夏に力強く咲くひまわりを描いてみました。



研修受講時の

駐車場 について

これまでご案内させていただいてお
 りましたヤマダ電機立体駐車場は利用
 できなくなりました。

研修を受講される場合は、受講決定
 通知を必ずご確認ください、指定の駐
 車場をご利用くださいますようお願い
 いたします。



図書室からのお知らせ



「病気がみえる」シリーズ全14巻、看護技術ブ
 ラクティス（第4版）など新しい本を購入しまし
 た。看護管理、看護研究、
 日本看護協会出版な
 どの本も増えていま
 す。ぜひ、ご利用くだ
 さい。





ナースセンターだより

看護の魅力発信！

「看護の魅力発見セミナー」

看護協会会長あいさつ

I 看護のお仕事公開授業 (40分)

「魅力ある看護の道へ」

- ①看護の仕事内容・魅力等
- ②忘れられない看護エピソード等

講師：徳島市民病院

谷崎 宏美／久我 珠世

II 現役看護職からのメッセージ

- ・新人看護師から
徳島赤十字病院
栗木 滯央
- ・中堅看護師から
徳島県看護協会訪問看護ST 徳島
松浦 美由紀

III ナースセンター紹介動画の放映

5月22日徳島新聞社主催のオンラインガイダンスへ協力参加し、看護の魅力について「看護の魅力発見セミナー」をライブ配信しました



ライブ配信での看護の魅力発信セミナーは初めての試みで、講師4人の方は緊張しながらも、とても上手に看護の仕事ややりがい、魅力について、視聴者に発信してくださいました。

視聴者の方から、様々な経験を持った看護師さんの生の声が聞けて、学ぶことが多かったと感想をいただいたことは、看護の魅力発信セミナーのやりがいにつながりました。



医療安全対策

No.43

コンポイントアドバイス

夜間巡視のポイント

看護師の巡視は、「安全のために患者さんを定期的に見回ること」です。



✓ 所在確認!

患者さんは居ますか? 病室にいない時はどこに居ますか?

✓ 生存確認!

呼吸はしていますか? 眠っているようでも、寝息や胸郭の動きで、確認しましょう。

✓ 輸液の確認!

輸液速度は適切ですか? 持続点滴がある場合は、輸液ボトルから刺入部までたどり、輸液速度、血管外漏出の有無等を確認しましょう。

✓ チューブ類の確認!

チューブ類の折れ曲がりや接続外れはありませんか? 人工呼吸器やドレーン類、酸素チューブの接続外れ等がないか確認しましょう。

✓ 環境の確認!

ポータブルトイレやナースコールの位置等、安全な環境が整っているか確認しましょう。

異常発見後は、病院として早期に対応し、二次的障害を最小限にすることが重要です!迷った場合は誰かに相談しましょう。

教育研修 担当者より お知らせ

昨年度は、新型コロナウイルス感染症により研修会の中止が多かったですが、今年度は、Zoom研修や集合研修を駆使して、日程通り研修会を実施しております。皆様のご参加をお待ちしています。

編集 後記

今回が記念すべき100号の発行となりました。これまで協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただきありがとうございます。今後もより良い内容に努めて参ります。ご協力よろしくお願いいたします。

(広報出版委員一同)